2023.9月議会
No.64

みやき町

こんにちは 議会 です。

シリーズ 農業「ハウス栽培」

Contents ・主な内容・

９月定例会…… 2
動議…… 5
決算報告書…… 6
街かどインタビュー…… 10
一般質問、11人が町政を問う…… 10
新規就農しました、編集後記ほか …… 22

各庁舎、こすもす館のテレビで、議会中継を行っています。インターネットでも視聴できます。

みやき町議会中継　検索

令和5年第3回定例会

9月定例会は9月4日から25日まで行われ、契約2件、決算認定8件、補正予算6件、意見書2件などを審議し、いずれも同意・可決しました。

条例改正

印鑑登録・証明に関する条例の改正

全員賛成

マイナンバーカードの電子証明書機能を搭載したスマートフォンを使って、コンビニ等に設置された多機能端末機で印鑑登録証明書がとれるようになることに合わせて、条例を改正する必要があるため、議会の議決を求めるもの。

工事請負契約

町営天建寺団地（旧）解体工事

全員賛成

町営天建寺団地が新築されたことによる、旧天建寺団地の解体工事

- 契約の方法
  指名競争入札による契約
- 契約金額　**5,247万円**

規約変更

佐賀県東部環境施設組合規約の変更

全員賛成

ごみ処理施設の事務の内容や事務所の位置を変更することに伴い、組合規約を変更する必要があるので、議会の議決を求めるもの。

物品売買契約

消防車の更新（北茂安分団第４部・第５部）

全員賛成

1．契約の目的
　消防団小型動力ポンプ付積載車購入事業
2．契約の方法
　指名競争入札による契約
3．契約金額　**1,890万8,280円**
　（２台分）

規約変更

佐賀県市町総合事務組合規約の変更

全員賛成

佐賀県東部環境施設組合が退職手当の共同処理に新たに参加することに伴い、組合規約を変更する必要があるので、議会の議決を求めるもの。

訴訟上の和解

町営住宅賃料請求

全員賛成

２者（Ａ氏・Ｂ氏）は、町営住宅の家賃を長期にわたり滞納しており、訴訟上の和解を佐賀地方裁判所において成立させるため、議会の議決を求めるもの。

《和解内容》

Ａ氏
　390万3,300円を
　令和５年10月から令和12年まで分割納付

Ｂ氏
　431万700円を
　令和５年10月から令和12年まで分割納付

一般会計補正予算

全員賛成

予算の総額に歳入歳出それぞれ4億6742万2千円を追加し、予算の総額を、歳入歳出それぞれ155億5349万1千円とする補正。

主なものは次のとおりです。

新規 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業補助金 2,319万円

大規模災害時の対策で、非常用自家発電装置を整備する認知症高齢者グループホーム3か所への補助金

増額 飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金 100万円

事業開始から4年目を迎え、申請件数が昨年度全体実績を超える見込みのため。

手術後、地域に帰る猫

増額 道路維持補修工事 3,500万円

豪雨によって被害が発生した道路や水路の緊急的な整備・補修費用が不足するため。

陥没した舗装道路（綾部区）

特別会計補正予算

全員賛成

特別会計補正予算は、主に令和4年度の繰越金が確定したことに伴う、一般会計からの繰入金・繰出金の調整です。

特別会計	増減	合計
国民健康保険	5,782万4千円	37億8,625万1千円
下水道事業	増減なし	12億1,038万5千円
グリーンパーク推進整備事業基金	増減なし	4,246万6千円
後期高齢者医療	221万9千円	5億163万3千円
ふるさと寄附金基金	2億5,640万8千円	65億335万6千円

人事

教育委員会委員

同　意

全員賛成

なかしま　みきお
中島　幹夫 氏（三根校区）　新任

教育行政の
レベルアップへ
期待します!!

人権擁護委員※

同　意

全員賛成

法務大臣へ推薦することに同意しました。

あかし
赤司ひとみ 氏（北茂安校区）　新任

たなか　あやこ
田中　文子 氏（中原校区）　再任

たなか　せいご
田中　聖吾 氏（中原校区）　再任

うしじま　かずたか
牛島　一孝 氏（北茂安校区）　再任

※人権擁護委員とは？

住民の人権を守るために活動する民間ボランティアです。

意見書

みやき町議会から国にお願いしました

全員賛成

① 町財政の充実・強化

ますます**増大する行政サービス**の維持・アップに対応するための10の項目について、意見書を総理大臣・関係各大臣に提出しました。

意見書全文は
☜こちら

② 保育所等の職員配置基準 改善を求める

未来を担う**子ども達の命や安全を守る**ために、保育士が**安心して働くことができる環境**を整えるための３項目について、改善要望を提出しました。

意見書全文は
☜こちら

伝統行事

新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行され、四年ぶりに町内各地でお祭りや浮立が催されました。

綾部八幡神社
行列浮立

千栗八幡宮　行列浮立

江見八幡神社
江見沖神事

動　議

松信彰文議員に対する議員辞職勧告に関する決議

提案理由

傷害の罪名で現職の町議会議員が起訴され、罰金刑が確定したことにより、みやき町議会の信用を失墜させ、その行動はみやき町議会の品位と名誉を大いに損なうものである。

よって、住民の信用回復に努め、良識ある議会運営を図るため、松信彰文議員の町議会議員の辞職勧告を求める

可決

賛成 8人

・議会人として犯した傷害という罪に向き合うべき
議会として意思表示をすべき

・同じ議会人として不祥事を見過ごすべきでない

・住民にみやき町議会のモラルが問われ、求められている
法が下した判断を尊重すべき

反対 6人

・事案が発生した当時の経緯・状況も考え、判決だけで判断すべきでない

・地方自治法に位置づけられた議案ではなく議会の意思表示に過ぎず、議決すべきでない
同僚議員が進退を決めるべきではなく、有権者が決めるべきだ

・当事者同士が和解している
お互い、政治活動で将来のみやき町のために貢献すべき

松信彰文議員に対する議員辞職勧告に関する決議について	可　決	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	除	×	×	議長※
件　　名	採決結果	賛　否　の　状　況															
賛否一覧 賛成：○ 反対：× 除斥：除（議案に直接利害関係のある議員は議事に加われない）	議員氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		末次　優	西村健一郎	長瀬　宣宏	吉村　哲雄	武田　光邦	目野さとみ	岡　友清	大石　安弘	牟田　秀文	古賀　通	園田　邦広	宮原　宏典	松信　彰文	平野　達矢	益田　清	岡　広明
件　　名	採決結果	賛　否　の　状　況															
調査特別委員会の設置について	否　決	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	議長※

※議長は賛否の意思を表示することができません。採決の結果、可否同数の場合は議長が裁決権を行使します。

※動議とは？　議会中に議員から提起される議案以外のもの。議会の意思決定を求めて原則として口頭で行われ、所定の賛成者があれば成立し、日程追加が了承されれば議題となる。

動　議

調査特別委員会の設置

提案理由

「平成29・30年度のふるさと納税返礼品納入業者選定等事務執行の適否」及び「元副町長が、みやき町に物品を納入する法人の代表取締役に就任していたことの適否」について、町長の要求により特別監査が行われ、「より公正・公平に行うべきであった」、「不適当であった」との監査結果が公表されたことについて、地方自治法第100条1項の規定により必要な調査を実施するため

否決

賛成 7人

・監査委員の指摘を鑑み、議会の調査権を行使し、真相を調査すべき

・監査委員の権限では限界があるため、特別委員会で真相を明らかにする必要がある

反対 8人

・委員会の定数や期限に納得いかない
素人ばかりでの調査には無理がある

・２年間に渡り様々な議員が質問し、執行部からの解答もあり、一定の理解は得られている

令和４年度決算を 認定

９月定例会で各委員会に付託された令和４年度決算について、予算が適正かつ効果的に執行されたかを、４日間（特別委員会は１日間）にわたり厳正に審査しました。その結果を定例会の最終日に報告しました。主な内容は次のとおりです。

総務文教 常任委員会　審査報告書

報告書全文はこちら

令和４年度一般会計（おもに総務・教育に関する部分）

認定

町税3税の滞納

徴収強化の努力は評価するものの、**税負担の公平性**から安易な不納欠損処理は極力避け、滞納者の対応を見極め法的措置も視野に**徹底した徴収努力**を望む。

行財政運営

ふるさと納税制度の改正により、今後は、**多くの寄附金は望めない**ことが想定される。

寄附金に依存しない行財政運営に努めてほしい。

投票率の向上

投票率は低下傾向にあり、**特に若年層の投票率が低い**ことから、年齢層や投票環境等を考慮した取り組みを行い、**投票率の向上**に努めてほしい。

GIGAスクール構想

タブレット端末を児童生徒の学習向上に役立てるため、教職員への研修を充実させ、**指導力のスキルアップ**を望む。

また、更なる校内LAN整備、管理体制の充実を図られたい。

学校施設を健全に

教育環境の維持・向上を第一に、児童・生徒数の推計も考慮し、適正な**改修・建て替え計画**を策定し、安全・安心を確保するため学校**施設の老朽化対策**を望む。

北茂安小学校

産業建設 常任委員会　審査報告書

令和４年度　**一般**会計（主に産業・建設に関する部分）
令和４年度　**下水道事業**特別会計
令和４年度　**工業用地取得造成事業**特別会計
令和４年度　**住宅用地取得造成事業**特別会計

全て認定

報告書全文はこちら

住宅使用料･下水道使用料

住宅使用料の**収入未済額が多額**となっており、下水道使用料の未済額も増加している。公平性・公益性の観点からも、他市町を調査し、徴収方法も再考しながら、今後の**滞納対策**について、より一層の事務強化に努力してほしい。

オリーブの木

配布した**オリーブの木の現状**を、台帳などで整理し、今後の管理方法の検証をするべきだ。

個人で管理している方への講習会や意見交換を行い、今後の方向性を協議し、**事業の整理**を図ってほしい。

農業振興支援策のアピールを

「さが園芸８８８億円推進事業費補助金」
「農業次世代人材投資資金事業費補助金」

新規就農者、農業希望の移住者や農業後継者などに補助金を周知・アピールして、定住促進につなげてほしい。

持丸古民家の活用

持丸古民家の持つ強みを出し、**交流人口が増加するよう**な企画について、先進地を調査し、町民全体が意識向上できるように努力してほしい。

ため池の活用

農業用水に利用していないようなため池は、埋め立てるだけでなく**「防災用ため池」**として活用できないかも検討していくべきだ。

外出支援タクシー助成

令和４年度登録者1,134人、延べ12,353件の利用があっている。

しかし利用時間帯によっては運転手不足で予約が取れない状況があるため、事業所を増やすなどして**利便性を向上**させ、また公共交通機関利用にも助成などを行うなど、より一層の支援に努めてほしい。

産業用適地

雇用確保の観点からも、企業誘致は大変重要。町内6か所の適地があったとの結果であり、早めの受け入れ準備をしていくべきだ。

民生福祉 常任委員会　審査報告書

令和４年度　**一般**会計　（主に住民・福祉に関する部分）
令和４年度　**国民健康保険**特別会計
令和４年度　**グリーンパーク推進整備事業基金**特別会計
令和４年度　**後期高齢者医療**特別会計

全て認定

報告書全文は
こちら

みやき町ホームページ

決算審査

窓口のDX推進を

行政手続きのオンライン化や、コンビニ交付の利用普及に努め、**窓口の混雑緩和**・職員の負担軽減を図り、**住民サービスの向上**に努力してほしい。

メディカルコミュニティセンター

町内の利用者を増やし、町内に還元できるように、引き続き努力してほしい。

地域活性化企業人事業は、令和４年度の分析結果に基づき、医療費削減の成果があがるよう町民などへの指導・アドバイスを進めるべきだ。

補正予算の見込みを適切に

出産育児一時金は、予算額に対する不用率が50%となっている。

補正予算を減額する時点で見込みを適切に行い、不用率が高率とならない様努力してほしい。

買物支援(移動販売)

仕入れ方法の工夫やチラシ配布など、今後も**事業継続ができるよう**、委託事業者に指導・助言すべきだ。

移動販売車でお買い物

グリーンパーク整備

リサイクル施設が令和10年度まで存続されることとなったが、今後は歳入も減少することから、事業の縮小・削減の検討も視野に適正化を図られたい。

ふるさと寄附金事業 特別委員会　審査報告書

報告書全文はこちら

みやき町ホームページ

令和４年度　**ふるさと寄附金基金**特別会計　**認定**

効果的な寄附金活用を

寄附者が希望した用途を尊重し、明確で効果的な活用に努めるべきだ。

基金の取り崩しは計画的に

ふるさと寄附金制度の改正により寄附金も多くは望めない状況。計画的な行財政運営と財政の効率化を十分図ってもらいたい。

ふるさと寄附金利活用事業

委託料：

外部委託した事業の**成果や、費用対効果**など、定期的に検証・見直しを行い、事業の効率化を図ってほしい。

交付金：

まちの将来につながる事業や公益性のある事業に活用すべきである。

事業の成果・効果を検証し、ホームページ・広報紙等で明らかにしてほしい。

地区安全安心いきいき特別交付金

地区の規模格差を考慮し、従来の均等割に加え、人口割で交付金を算定する方法で見直されている。それら以外の事業も、成果・効果検証、財政効率化を十分に図ってほしい。

ふるさと寄附金とは？

自分の生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域や、これから応援したい！地域の力になりたい！という思いを実現し、「ふるさと」へ貢献するための制度です。

一定の条件を満たせば税の控除が受けられます。

寄附金額全体

経費（50%以下）		町の収入（経費以外）
返礼品（30%以下）	その他 送料・手数料等	

一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。
令和５年第３回定例会の一般質問は11人が行いました。
各議員のページには、『ＱＲコード』と『ＳＤＧｓの17目標のロゴマーク』を掲載しています。
ＱＲコードからは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。　（掲載は登壇順）

P11	P12	P13	P14	P15	P16
マイナンバーカード	空き家対策	中長期財政計画	ＤＸ活用	太陽光発電	合併の目的達成度

P17	P18	P19	P20	P21
ふるさと納税	大雨災害	保育園使用済紙おむつ	ふるさと寄附金制度	電動カート

皆さんの関心のあるテーマはどの項目ですか？

街かどインタビュー

広報委員が 街 に出て
インタビューしてきました！

みやき町のよい点・悪い点は？

福祉ネイル活動をされている皆さん

- 給食費･医療費の負担が少なく、子育てしやすい
- 賃貸物件が少ない
- 飲食店が少ない
- 保育園が少ない
- 各地区のお祭りの時の団結力が強く、地域愛を感じる
- 通学路に危険な箇所があり心配
- 小児科がない
- 交通の便が悪い
- 緑が多く田園風景が良い
- 高齢者👴でも元気な人が多い

園田（そのだ） 邦広（くにひろ） 議員

問 マイナンバーカード紐付けで誤登録 町の状況は

答 本町では、誤登録は発生していない

問 報道では、受付した職員が前の人の手続きをしたあと、ログアウトしないまま次の人のデータを入力したため誤登録の原因となったと聞いている。果たしてそれだけで多くの誤登録が発生したのか疑問である。システム自体にも何らかの不備等があったのではないのか。

答 窓口で受付する際、本町では、ログアウト漏れを防ぐため国のマニュアル手順の周知徹底を図っていた。現時点で、住民の皆さまからのお問い合わせも受けておらず、ログアウト漏れによる誤登録は、発生していないものと考えている。

一方、ご自身のスマホ等で登録する際に発生したものに関しては、本人以外の家族名義の口座が登録できたことや、マイナンバーカードのふりがなと口座名義のふりがなの突合チェックがシステム上できないような仕組みだったことを考えれば、システムの不備とも考えられる。

問 マイナンバーカード加入促進では加入率によって交付税措置が取られるようになっていたが、令和5年度普通交付税にはどの程度反映されているのか。

答 基準算定から実績を比較した差額分が上乗せされている（右の数字で説明）。

基準算定と実績との差

	保有枚数率	保有枚数	算定額
基準	0.7325	18,687枚	9,694千円
実績	0.7862	20,056枚	16,034千円
差額	0.0537	1,369枚	6,340千円

豆津橋の4車線化について

問 この4車線化については、過去2回にわたり一般質問してきた。

私の提案は執行部・議会及び関係者を含めた協議会か期成会等を設置し各関係先に要望ができる体制を整えるべきだと、答弁を求めてきたが、まだ、その方向には進んでいない。何故か。

答 これまでに数回にわたり久留米市を訪問して豆津橋の実情を訴えてきている。本年5月と8月に久留米市の担当部署とも協議を行った。その中で久留米市においては、国・県事業を複数行ってもらっている状況の中であり現時点では協議会等の設置は難しいとのことであった。

4車線化が出来るようになっている豆津橋

問 町長はこれまで国会議員の方に4車線化について要望されたということだが、その中で計画書なり青写真ができたら見せて欲しい、そのうえで協力していきたいとのことであったが、その計画書はできているのか。

答 下地については、できている。正式な計画書ができた時点で議会に提示したい。

慢性的な渋滞が続いているケーズデンキ付近

牟田（むた） 秀文（ひでふみ） 議員

危険な家屋の解体除去の補助金申請件数は
空き家539件、補助金申請60件、特定空き家6件を指定

問 近年、我が国では、地方を中心に空き家が増加しており、みやき町でも、今後増加していくことが予想されるが、特定空き家は町内に何件あるのか。空き家対策の具体的な取り組み、危険な家屋の解体除去の補助金内容は。また申請は現在まで何件あるのか。

答 特定空き家の件数は、これまで6件指定、全て解体除去済。危険な空き家の解体除去の補助金は、事業費の8割を補助しており60件交付し、解体除去を行った。このほか空き家解体新築補助金と空き家リフォーム補助金があり、限度額50万円の補助を行っている。

問 空き家の実態把握の方法、現状の対策は。

答 区長会に空き家の情報提供を依頼しており、令和5年度は539件の空き家を把握している。現状の対策は、空き家等対策計画を策定し、空き家の発生予防、空き家の管理及び跡地の利活用等の促進を図っている。

問 町内には放置すれば倒壊の非常に高い空き家が存在するが、助言・指導・勧告・命令など行ったのか。町はどのように対処しようと考えているのか。

答 空家対策特別措置法に基づく助言は178件、指導・改善の勧告や命令は行っていない。放置すれば倒壊の恐れのある特定空き家の要件を満たす空き家の存在は認識しているが、その指定は危険等の切迫性を判断し慎重に行うことが必要と考えており、それぞれの空き家の状況に応じ適切に対処していく。

今後の防災対策について

問 風雨時の聞き取りづらい防災行政無線を今後どのようにして確実に町民に情報伝達をされるのか。また聴覚障がい者に情報の発信として、マゴボタンの導入を進めるということであったが、その後どのようになっているのか。

答 防災行政無線で聞き取りづらい方には、昨年度より防災ラジオを準備し、土砂災害警戒区域の世帯や高齢者の世帯等に対し、無償で貸与している。防災情報や避難所開設情報等を提供できるので、防災ラジオも活用していただきたい。マゴボタンは現在約320台利用されている。防災行政無線は運用開始から10年経過し、運用の改善を検討する。

防災行政無線拡声子局

問 町の定住対策の成果で住民や子どもも増えた。学校現場や地区単位での出前講座などで、町民の減災に努めていただきたい。

答 学校、関係機関、地域が連携し、子どもたちの防災教育に取り組んでいきたい。また住民一人ひとりに防災意識を持っていただくことが大事で、今後、出前講座や訓練を通じて、自助・共助の盛り上げに努める。

すえつぐ 末次　ゆう 優 議員

問 各地区への交付金を見直し、基金（貯金）に積み立てていくべき

答 学校施設も含めた町の財政体質を立て直していく

※中長期財政計画とは？

現在および将来にわたっての財政の姿や、運営上の課題などを明らかにするために作られるものです。

財政の健全性を確保し、今後の財政運営や予備編成の目標指針とするため、中長期十年間の財政推計を策定します。

問 中長期財政計画推計※で、町内小中学校設備費に関して、老朽化が進んだ校舎の設備にかかる改修費用は含まれているか。

答 現時点では含んでいない。

問 ふるさと寄附金を財源とする既存の地区交付金を見直し、教育施設整備基金に積み立てていくべき。

答 学校施設も含めた町の財政体質を立て直していく。

問 令和5年度当初予算でも1億円以上の施設改修予算を計上しており、今後も増加が見込まれる。今後おとずれる学校施設の建て替えや老朽化に対する改修に対応できるような体制を整えておくべきだ。

答 重要な課題であり、教育施設整備基金には多く積み立てていきたい。今後の将来のために備えたい。

北茂安中学校

今年度の大雨状況は

問 今年度大雨により被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

LINEなどを活用して早期避難を呼びかけているが、新たに始めたことはあるか。

答 昨年より導入した防災ラジオは有効な伝達手段と考えている。また、地区サロンでの防災講座などで住民の皆様が災害について考える機会を増やしていきたい。

問 災害時にペット同伴での避難場所がない為、中原球場を活用するという考えはあるか。

答 ペット同伴の避難は避けて通れない課題だと認識している。今後も継続的に調査していきたい。

古賀（こが） 通（とおる） 議員

問 DX（デジタルトランスフォーメーション）本町の活用は

答 デジタル化して行政のあり方を変革するように各課で推進している

問 高度成長時代にはDXといえばハイデラックスと一段上の意味だったが今はデジタルトランスフォーメーション＝情報機器による業務改善と解する中、民間はじめ行政など活用されているが、みやき町ではどのように応用されているか。

答 4年度のDX推進計画において地域課題の解決や新たな価値の創出に取り組んでいる。

情報未来課は町内地図に要所ポイントを閲覧できる統合型GISの導入。産業支援課はみやきPay（電子マネー）を活用している。現在、住民環境課では、町民への応対に「待たせない書かせない」ワンストップで申請書の簡略化を検討中。

健康増進課では健康状態をデータ化して医療関係との連携ができるよう検討している。

農林課は、水害対策としてセンサーにより水位を監視し、水門の遠隔操作と一括管理ができないか検討中。今後、有識者の助言を得てDX推進本部会議を開き、費用対効果の高い事業について予算化の手続きを進めていく。

このような変革は職員各自の認識が重要である。

農薬のヘリ散布

問 農薬散布にヘリコプターが活用されているが住民への影響はないのか。

答 農薬は農林水産省の審査機関の検査を経て、安全性が確認されたものを登録内容に沿って使用されている。農協主体で実施されており、事前に養蜂業者等への周知を含め県に届け出されている。日の出から日の入りまで飛行の許可は不要であるが、事前に生産組合等から周辺住宅へ周知しており、無人ヘリコプターによる農薬散布にご理解をお願いする。

農薬のヘリ散布

長瀬（ながせ） 宣宏（のぶひろ） 議員

問 太陽光発電設備条例制定は

答 国及び県の動向を注視し検討する

問 森林伐採及び造成に関する規制についてお伺いする。

答 森林の立木を伐採するときは、町森林整備計画に従った適切な作業をするために、町に届出が必要である。

森林法により、ま ず立ち木を伐採する30日前までに伐採及び伐採後の造林の届出、次に伐採を完了した日から30日以内に伐採に係る森林の状況報告。最後に造林を完了した日から30日以内に伐採後の造林に係る森林の状況報告を提出することとなっている。

住宅のすぐ側にある太陽光発電設備

問 近隣住民とのトラブルを把握されているかお伺いする。

答 本町における太陽光発電事業については、資源エネルギー庁が作成している事業計画策定ガイドラインに沿って適切に実施されているが、太陽光発電設備の敷地内における雑草等の繁茂や、近隣地域への安全面や生活環境に影響があると考えられる場合は、現地確認を行った上で、太陽光発電設備事業者の方へ連絡をとり、適正管理をお願いしている。

問 太陽光発電設備に関する単独条例を策定されるか。

答 太陽光発電含め、再生可能エネルギー発電事業を円滑かつ確実に実施するためには、事業計画策定ガイドラインも毎年改定されている状況で、今後、国及び県の動向を注視し検討する。

公用車のドライブレコーダー、電気自動車の導入は

問 公用車にドライブレコーダーは何台設置されているか。

答 本町の公用車は71台管理し、そのうち25台にドライブレコーダーを設置している。未設置車には今後、更新時にドライブレコーダーを設置する。職員の安全意識の向上を図る。

問 公用車にEV（電気）自動車は導入されるか。

答 現在公用車としてEV自動車は保有していない。ゼロカーボンシティ宣言に向けた調査が進められており、その方針を踏まえて取り組んでいく。

EV自動車の必要性は理解している。災害時に非常用電源として役に立つし、二酸化炭素の排出抑制に有効な手段になるので、積極的に検討を進めていく。

町公用車

QRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます

ひらの　たつや
平野　達矢 議員

問 4年度決算から見る長期財政
答 行財政改革で通常収支の均衡を目指す

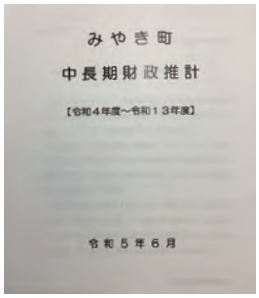
問 4年度決算をみると、合併18年を経過した現在、合併の初期目的が達成できたとは言いがたい。今まで合併特例債を139億、ふるさと寄附金337億を注ぎ投資をした結果、他町に比べ財政規模が肥大化している。経常収支比率が95%を越え、基金やふるさと寄附金から繰入れをしないと財政運営が厳しい状況であり財政が硬直化していると言わざるを得ない。このままでは中長期的な財政の立て直しをしないと赤信号が灯る。早期の財政構造へのメスが必要と考える。次の点について見解を伺う。

㈠みやき町行政改革大綱の運用は。

答 昨年の11月に行政改革推進委員会、そして行政改革推進本部を立ち上げ、行政改革大綱の答申をお願いしている。基本は選択と集中で全事業見直し、事業選択、DX推進に向けた取り組み等を推進していきたい。

問 ㈡みやき町中長期財政計画を詳細に示し、議会と共に財政状況をしっかりと把握し、財政安定化を目指す時である。また内容を公開して町民への啓発と協働を求めるべきと思うが見解を伺う。

答 4年度は一般会計においても、ふるさと寄附金、各基金等から20億6千万円の繰入れ、5年度も一般会計当初予算で23億円の繰入れをしている状況である。これは歳出が歳入を大幅に上回る多額の収支差が発生しており、収支の均衡を保つため基金を取り崩して歳出予算を賄う状況が毎年続いている。将来世代に負担を先送りしないため、基金繰入れのような補填財源に依存するのではなく、収入の範囲内で予算を組むことを原則とし、行財政改革を行い、通常収支の均衡を目指したい。町民へも現状と啓発を行い理解を求めていきたい。



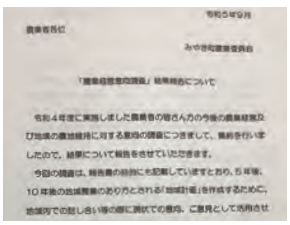
問 ㈢4年度決算における監査委員意見書の対応策を伺う。

答 意見書の内容は厳粛に受け止め全職員一丸となって現在の行政レベルを下げることなく安定財政の持続に努力邁進していく。

中山間地域農業振興策

問 中山間地域農業は治水や災害防止においても大きな役割を果たしている。4年度実施された農業経営意向調査の結果を見ると、農業政策の充実を求める意見が多い。この意見をどう生かすか伺う。

答 国・県の事業の拡充や中山間地の要件緩和を求めながら来年の農業基本法改正と合わせ、食料の安定確保や、本町独自の補助事業も検討していきたい。



益田（ますだ） 清（きよし） 議員

問 町の財政は大丈夫か、経常収支比率を問う

答 95・6％で硬直化しており、行政改革に努めたい

問 ふるさと納税制度は経費総額を寄附額の5割以下とするなど厳しさが増す。今後の見通しは。

答 令和4年度は寄附額約22億3千万円が寄せられた。経費削減の方法として、ワンストップ特例事務の簡素化（デジタル化）を進めているところである。

問 本町の町財政は町一般会計とふるさと寄附金基金特別会計（特会）で運用されている。特会の基金（貯金）残高は約45億8千万円になり、昨年より約8億円減ったことになる。4年度は特別会計から一般会計へ繰り入れた額が約14億円、38事業を行った。給食費・医療費無料事業も含むが使途の大きい事業が①道路橋りょう新設改良費の町単独事業費に2億7千万（継続事業）②公共下水道費2億6千万円（維持管理費等）③メディカルコミュニティセンター1億4千万（償還額8千万円分含む）となる。いずれも前町政からの事業継承だが①は事業計画・財政計画の提示を③は目的をはっきりさせ、達成されているか、費用は適切か事業評価報告書を提出すべきだ。

答 ふるさと寄附金の先行きが不透明。寄附金が減少すれば基金が激減していく。危機感をもって取り組みたい。

事業評価は行政改革推進委員会、総合計画のローリングで評価をしていき、結果が出ればお示しできる。

問 町財政の硬直度を示す経常収支比率は、特別会計から繰り入れなかった場合は何％か。

答 経常収支比率は99・9％になる。

財政構造の硬直化が進んでいる。適正な行財政運営のための行政改革大綱の策定に取り組んでいる。

新設中津隈板部線（大電南側）

猛暑避難所を公民館等で過ごすクールシェアスポット事業（電気代補助）を

問 猛暑が襲ってくる毎日だ。熱中症対策が急がれる。一つはエアコン購入費補助はできないか。

2つ目は今、エアコンの電気代を町が補助し高齢者が公民館で過ごすクールシェアスポット事業が進められている。食べ物を持ち寄り楽しく話したり仲間を広げている。熱中症予防だけでなく様々な利点がうまれている。常連さんが来ないと安否確認、仕事で家をあける家族の安心にもつながっている。子どもたちの居場所づくりにも、交流が活発になり助け合いが広がり、何よりも電気代が助かると。事業効果は抜群だ。ある町は3割の公民館で事業実施を広げている。

本町は健幸・長寿の町、医療費削減に努めている。このような事業こそ具体策として取り組むべきでは。

答 来年度は温暖化がさらに厳しくなると予想されている。前向きに検討したい。

QRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます

QRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます

よしむら 吉村　てつお 哲雄 議員

7月上旬大雨での寒水川・山ノ内川災害対策

山田地区の砂防ダムの土砂堆積は通常目視

問　山田地区の寒水川内の砂防ダム2カ所に土砂が貯砂量以上に溜っているように見受けられる。一定以上の土砂が堆積することで、下流への土砂が流れ込み、さらに河川の河床が上がり洪水の要因も考えられる。今後の除去等対応は。

答　砂防ダムによる土砂流出防止として設置され治山治水として大きな役割を担っている。この砂防ダムを設置管理している東部土木事務所に問い合わせたところ、通常の管理は目視しており、必要に応じ対応を行うとのことで、上部まで土砂が堆積している事については至急確認を行うとのこと。

寒水川堤防の崩れ

問　今回の大雨で寒水川や山ノ内川において堤防が多数崩落する災害が発生している。まずは寒水川においては石井橋の下流左岸側において、60ｍにわたり堤防が崩落し、町道の一部が通行止めとなっている為、通学や近隣の方たちの散歩道としての利用ができない状況となっている。そのため、早期の復旧対応について、また、併せて山ノ内川においては、石井東橋上流右岸側においても1キロほどにわたり堤防が崩落しており、現在は仮復旧工事がなされているところから通行可能となっているが、本復旧工事を早期に実施していただくことをお尋ねする。

答　今回の大雨により寒水川や山ノ内川においては、多数の法面が崩落し、両河川とも数百ｍの延長にわたり災害が発生し、幸いにも人命や財産等に被害が及ばなかったことは、せめてもの幸いと感じている。両河川の仮復旧状況は、山ノ内川については、石井東橋上流の仮復旧がなされているが、隣接する田んぼの管理を行うに際し、早急に仮復旧が必要と判断されたと思われる。

　寒水川においては、被害があった河川堤防は町道と認定している。その町道と並行する形で現在道路新設事業を行っている中原板部線を利用できるものと推察する。両河川の復旧は、国の災害査定を受け、復旧工事の着手となる。東部土木事務所へ問い合わせたところ、現時点では年度内に災害査定、工事発注は未定との事。

　早期の着工並びに完全復旧について要望していきたいと考えている。

山ノ内川　仮復旧

目野（めの）さとみ 議員

問 視覚障がい者の情報保障に音声コードを

答 先進事例を参考に検討を進めていきたい

問　障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行されて1年が経過する。この法に対する町の認識はどのように捉えているか。

答　「障がい者に優しい社会」は「健常者にも生きやすい社会」という認識を以て、法の基本理念にのっとり、誰もが安心して過ごせる社会づくりに努めていきたいと捉えている。

問　「音声コード」というものがあるが、どういったものなのか。公的な通知について導入する考えはないか。

答　音声コードとは、QRコードと同じ印刷物上の切手大の二次元コードで携帯電話・スマートフォン・タブレット端末や専用機械を使って文書を音声で読み上げることにより、情報を得ることができるというものである。先進事例を参考に音声コードの活用を検討していきたい。

音声コード（見本）

保育園の使用済み紙おむつの取り扱いについて

問　本年1月、国から「保育所等による使用済み紙おむつ処分」を推奨する旨の通知が発出されたが保育園の取り組み状況・管理・処分方法について伺う。

答　本年4月から町立・私立の全ての保育園では、専用のダストボックス等を使用され保管し、衛生面にも配慮され事業系ごみとして処分されている。

風の子保育園

問　保護者・保育士の負担軽減に繋がったか、現場の声や課題や問題点はないか。

答　使用済み紙おむつを持ち帰っていたときは、保育士が園児ごとに仕分けしなければならず、間違わないように神経を使っていたが、園で処分するようになり、保育士の負担は軽くなっている。保護者の皆さんについても家庭で処分する必要がなくなり、衛生面での管理や処分にかかる時間と費用の負担軽減となっている。課題は特になかった。保育所等での感染症予防や適切な衛生管理及び保育士の負担軽減等となるよう、今後も継続して取り組み・支援していきたい。

遺族の手続きについて

問　遺族の手続きは8枚の書類に同じ内容を記入する必要がある。高齢者にとっては、重い負担になっていることを認識しているか。また、簡素化する考えはないか。

答　ご遺族、届け出者にとって大きな負担と認識している。マイナンバーカードを利用した取り組みの一つとして、書かない窓口システム導入の検討を進めている。

中原庁舎の総合窓口

にしむらけんいちろう
西村健一郎 議員

10月に制度改正されるふるさと寄附金制度について

ルールを遵守しながら寄附の獲得に努める

問 ふるさと寄附金制度が10月に改正されるが、改正の内容について、また昨年度の寄附の状況と出品を取り下げている家具の現状について伺う。

答 まず、昨年度は22億円以上の寄附を集めることが出来た。全国の自治体の中でも81位と最大限の努力の結果が出ていると考える。新聞に報道され出品を取り下げた家具は現在も非掲載となっている。提供再開については総務省および事業者と調整しながら慎重に進めている。10月からの制度改正については大きく2つあり、一つは寄附金の募集に要する経費の割合を今まで含まれていなかったワンストップ特例事務や寄附金受領書の発行を含めて寄附総額の50％以下にすること、二つ目に地場産品基準が厳格化される。返礼品の原産地が当該地方団体が属する都道府県の区域内に限られ、また返礼品における全体価値の割合において地元産が7割以上を占めなければならないと改正される。

問 制度改正を踏まえて、みやき町での具体的な取り組み計画について伺う。

答 出品する返礼品の見直しを行っている。全体価値が7割に満たないものについては一部取り下げを行ったものもあるが、今のところ大きな変更を行うには至っていない。また、経費については経費割合の圧縮を図るためにワンストップ事務のデジタル化を現在進めている。今後、経費削減と寄附額獲得のため協議を重ねて、他自治体の動向、情報を集めながら制度を遵守した運用に努めていく。

問 他の市町ではインスタグラム等のSNSを用いた広告プロモーションを展開している所もある。ルールを守りながら寄附額を増やしていく打ち手として検討できないか。また既存の返礼品に付加価値を付けることで魅力ある返礼品の開発を進めていくことが出来ないか。

答 現在、寄附者の年齢層は40代・50代がメインだが、SNSを活用することで20代・30代の若年層を取り込むこともできるようになると思う。返礼品においても既存の商品のブランド力を高めながら、返礼品として付加価値をつけて提供することも重要なことだと考える。本日意見頂いたことをふるさと寄附金戦略会議の中で議題として取り上げたいと思う。今後もルールを遵守しながら、寄附額を伸ばしていく努力をしていきたい。

みやはら ひろのり
宮原 宏典 議員

令和3年度ふるさと納税事務委託費未払い何故だ

ふるさと振興協会の下請け業者と裁判途中

問 令和3年度下請け委託業者に事務委託料の支払いが出来ていない。振興協会は平成28年に町長主導で第三セクターとせず議会や監査をせず報告なし。事務職員は町の職員が兼ね、人手不足から下請け委託業者に委託費が未払いと6月定例会では答弁。

答 下請け業者は令和2年度から引き続き令和3年度も業務をされていた。令和3年4月10日に岡町長が就任された時は下請け業者と未契約の状況であった。

問 問題は契約しないで仕事、委託費の財源は町からだ。振興協会を第三セクター扱いにしなかったのは前町長が議会・監査を逃れるためと疑われても仕方ないことだ。

答 契約の方法については今後適切な事務執行に務めていきたい。

問 下請け委託業者は同室で執務、特段下請け職員が長時間仕事した訳でなく、振興協会への後出し委託料は後出しじゃんけんと同じで許せるものではない。物事は人・物・金が問題で、年数が経ったからだではない。

前町長には責任問題等を質し、ふるさと納税の問題は三根cc兼業兼職問題等もある。町・議会は徹底的調査を行い町民に知らせる義務がある。

答 裁判中ということで詳しくは言えないが、当初弁護士同士の和解とも思ったので提案したが、先方が民事裁判に踏み切った。今までの事務処理は問題視している。

交通弱者に電動カート購入補助金を

問 みやき町も高齢化が進むなか免許証返納後の日常生活のための電動カート購入に援助できないか伺う。

答 高齢者の自動車事故が報道されている。毎日の買い物や通院に免許証を必要としない、電動カートの利用が増えている。佐賀県内では基山町が購入補助を実施されている。他事業の見直し等を含め、検討していく。

問 現在タクシー運転手が少なく間に合わない状況。ちょっとそこまで通院等に電動カートによって楽しい生活ができるなら安いものだ。

答 高齢者の方々の不便でない社会にローリングしていき、電動カートも検討したい。

電動カート

QRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます

新規就農しました！

シリーズ 農業（第2回／全4回）

4回にわたって、わが町の基幹産業である『農業』に従事している姿にスポットを当てていきます！

第2回は、最近、ブロッコリーの栽培を始められた農家の方を取材しました。

寺田　隼人 さん（21歳）

何を栽培されていますか？

今年、初めてブロッコリーを育てています。

農業支援について、町への要望はありますか？

若者の新規就農を支援してほしいです。

農作業で大変なことは？

新規就農で農業のノウハウを覚えるのに必死です。

夏の暑さで体力的に参っています。

みやき町のいいところは？

緑豊かで地元の農家さんをはじめ、地域住民の皆様がとても優しいと感じます。

次回定例会（12月）　午前９時30分開会

会期予定　12月5日（火）～14日（木）

一般質問　12月7日（木）、8日（金）、11日（月）

※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。
最新の日程は、みやき町ホームページまたは議会事務局（94-5728）でご確認ください。

編集後記

経験したことのない！
モーレツな！酷暑！
危険な暑さ！猛暑日！
線状降水帯！

昭和の時代にはなかった言葉。
今年は、ことのほか自然の恐ろしさをひしひしと!!

昔は、雨・台風・雷・おやじのゲンコツが怖いベスト4だったが、なんと今年のナンバー1は〝暑さ〟。

子どもや孫の将来、このままでいいのか？親の環境責任、全うできるか不安だらけ。　（達）

◎広報編集委員会

委員長　平野　達矢
副委員長　西村健一郎
委員　末次　優
委員　長瀬　宣宏
委員　吉村　哲雄
委員　武田　光邦

発行／佐賀県みやき町議会　編集／議会広報編集委員会
〒849-0101　佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀1043　TEL 0942-94-5728